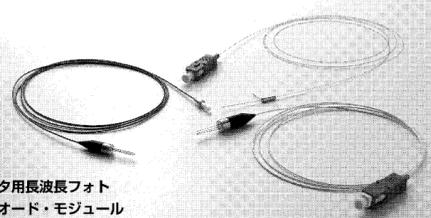
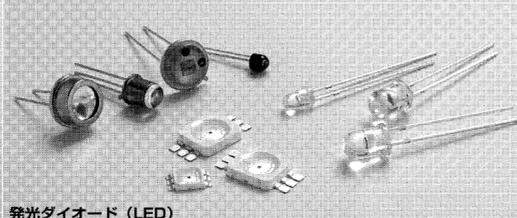
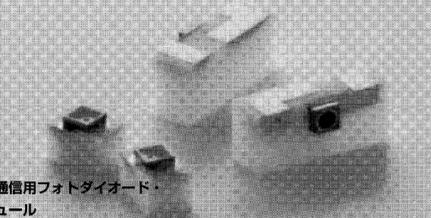
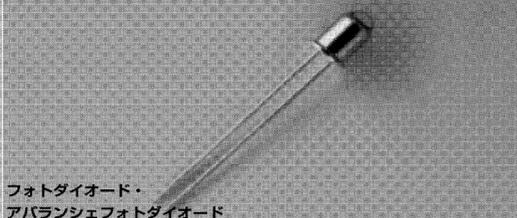
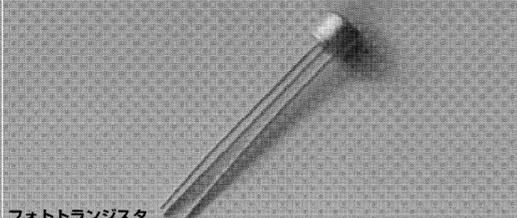




光通信デバイス	光センシングデバイス
 <p>モニタ用長波長フォトダイオード・モジュール</p>	 <p>発光ダイオード (LED)</p>
 <p>高速通信用フォトダイオード・モジュール</p>	 <p>フォトダイオード・アバランシェフォトダイオード</p>
 <p>光配線用高速フォトダイオードアレイ</p>	 <p>フォトトランジスタ</p>

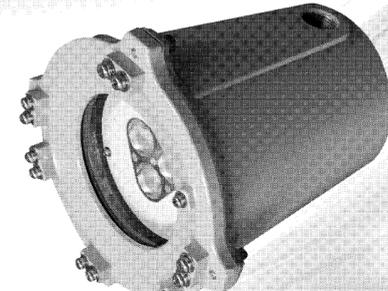
光技術で36年、これからも未来のために。 京セミ株式会社

〒612-8201 京都市伏見区恵美酒町 949-2
 本社 075-605-7311 / 東京営業所 03-5312-5360
<http://www.kyosemi.co.jp/>

道路をトンネルを工場を明るく照らし続けるために LED照明の可能性を追求する

防爆形LED透視灯 LZTBシリーズ

省エネ 長寿命 水銀レス 低誘虫 紫外・赤外線レス



- 周囲温度55℃までの環境で使用可能
温度的に過酷な環境下においてもご使用いただけます。
- 配光を3種類(狭角・中角・広角)ラインナップ
様々なサイズの容器・反応釜・攪拌槽でご使用いただけます。

厚生労働省型式検定試験合格品
 ■ 防爆構造: Exde II CT6X
 ■ 使用可能な危険場所: ゾーン1, 2
 ■ 水素ガス対応品

● 白熱透視灯200W、従来LED透視灯器具との比較

	従来品 (白熱透視灯 200W)	新製品 LED透視灯 LZTB110181-N	従来品 (LED透視灯 LZTA19181)	新製品 LED透視灯 LZTB110181-N
平均照度	28.9 lx	約 115% 34.2 lx	20.7 lx	約 139% 34.2 lx
消費電力	200 W	約 -92% 15.5 W	22 W	約 -30% 15.5 W
CO ₂ 排出量	258kg/年	約 -92% 20.0kg/年	28.4kg/年	約 -30% 20.0kg/年

皇和電機株式会社

本社工場 〒610-0192 京都府城陽市寺田新池36番地 TEL.0774-55-8181 FAX.0774-58-2034

<http://www.seiwa.co.jp>

独自技術で存在感

片岡製作所はレーザー加工装置、二次電池検査装置が二大主力事業だ。これからの持続可能な成長戦略をより確かなものにするため、事業セグメントの充実に乗り出す方針。既存の主力2セグメントに、ライフサイエンス事業、ロボット事業、新規事業を加えた5セグメントで成長を目指す。既にライフサイエンス事業では、iPS細胞(人工多能性幹細胞)の不要細胞を効率的に除去するプロセスング

装置を開発、注目を集めている。既存2事業は電気自動車(EV)や太陽電池など環境関連産業を背景に期待が大きい。EVのキーデバイスの一つである二次電池の検査装置は、国内外から高水準の受注が続いている。微細加工を得意とするレーザー加工装置は太陽電池や自動車の電装化をにらみ電子部品業界からのニーズが高まっている。



京都全景 京都を離れない理由がある

片岡製作所

装置を開発、注目を集めている。既存2事業は電気自動車(EV)や太陽電池など環境関連産業を背景に期待が大きい。EVのキーデバイスの一つである二次電池の検査装置は、国内外から高水準の受注が続いている。微細加工を得意とするレーザー加工装置は太陽電池や自動車の電装化をにらみ電子部品業界からのニーズが高まっている。

京セミ

イオードと変調器、G-IPON向けモニターInGaAsフォトダイオードなどが主力。端面入射型モニターは小型化ニーズを受け好評だ。センサーは従来の産業用ニーズに加え、紫外線センサー、給電コンバーターなどをラインアップ、セキュリティ分野やメカ分野の需要開拓を進めていく。そして、今後大きな需要が期待される高速光通信用デバイスの増産体制を急ピッチで構築する予定だ。

京のグッド カンパニー

製品・技術紹介

電力・鉄道国内外で

「電力関連需要が戻ってきました。」「スイッチ類や故障表示器などが老朽設備のリースでようやく動き始めた。当面は安定した需要が見込める。電力小売り自由化で市場の様相は異なってきた。送電網や変換所の拡充需要が期待できる。無接点の遮断機など電子化対応の製品も用意しているが、実績ある従来製品の評価は依然高い。」「海外市場開拓を強化中。」「電力ではクワエートやインド、米国の高速鉄道における表示灯およびスイッチなどの新規採用、または拡大が期待できる。」「みなみ草津工場を増築します。」「3工場の物流機能の集約による合理化、スイッチやリレーなどの生産能力の増強を狙った。物流コストは13%減り、40%の増産体制を急ピッチで構築する予定だ。」



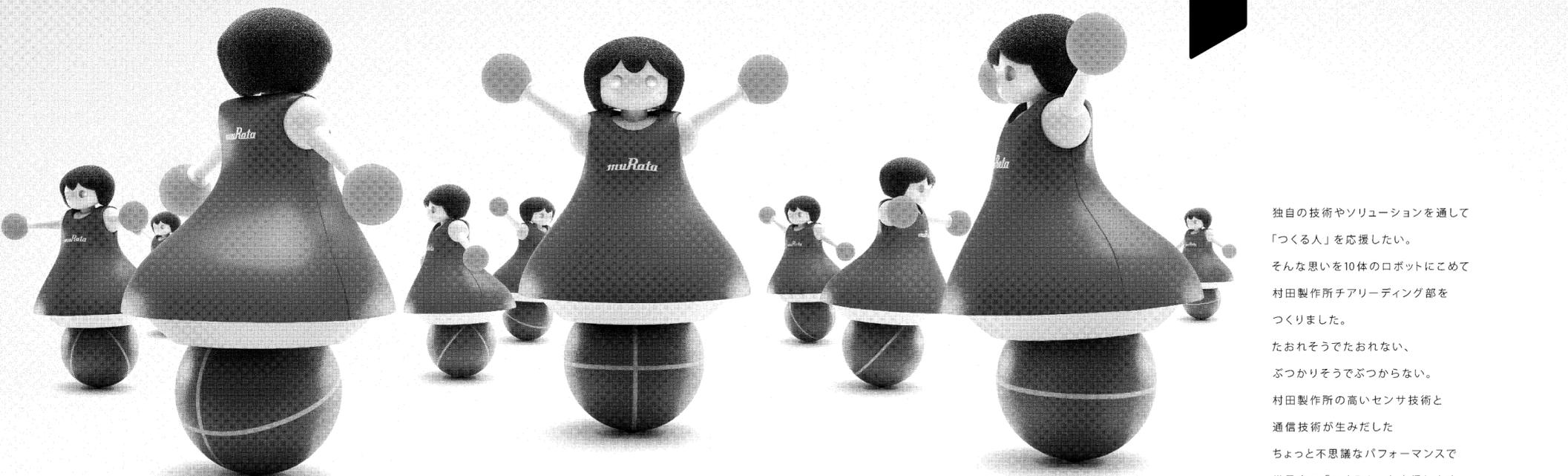
不二電機工業
小西 正 社長

京都企業トップに聞く



INNOVATOR IN ELECTRONICS

村田製作所



フレ!フレ!つくる人。

独自の技術やソリューションを通して「つくる人」を応援したい。そんな思いを10体のロボットにこめて村田製作所チアリーディング部をつくりました。たおれそうでたおれない、ぶつかりそうでぶつからない。村田製作所の高いセンサ技術と通信技術が生み出した。ちょっと不思議なパフォーマンスで世界中の「つくる人」を応援します。

株式会社 村田製作所 本社 〒617-8555 京都府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先: 広報室 企業広報課 phone: 075-955-6786 murata.com